

台風 15・19 号の置手紙 ㊦

じゃく きょう しょう 弱は彊より生ず ハギビスの旅

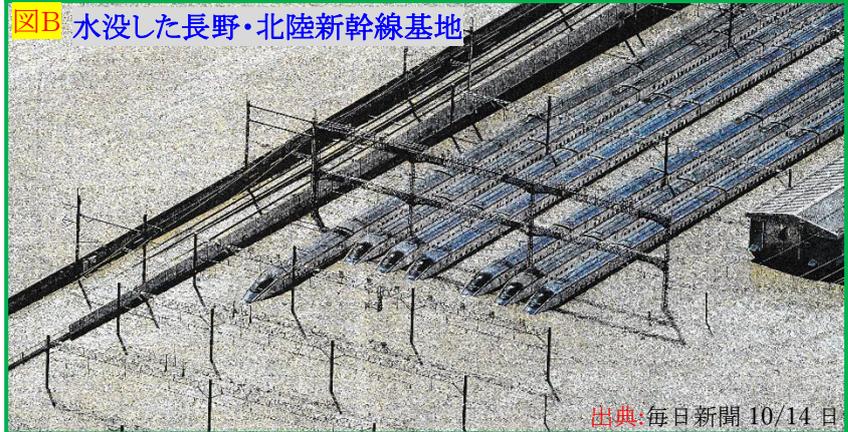
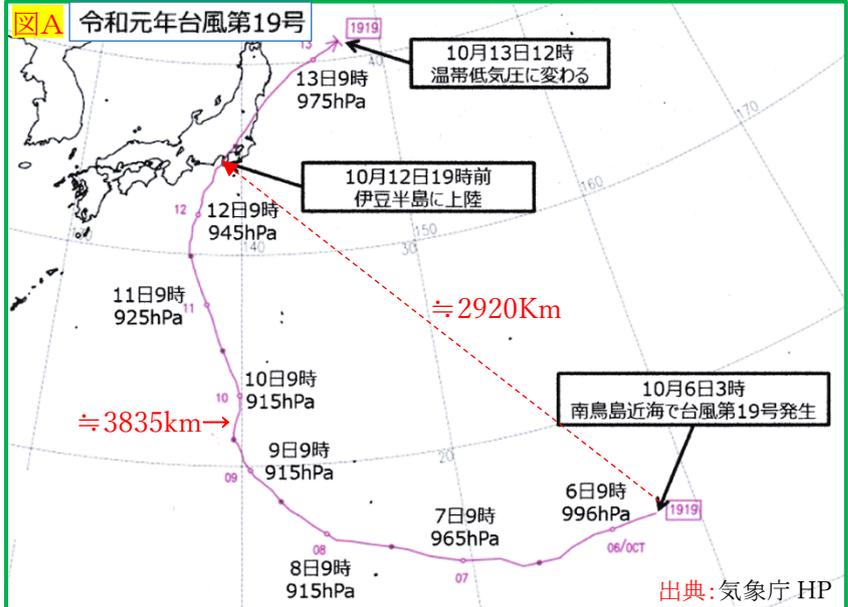
我が友となった 1 型糖尿病と向き合い、かわら版 91 号送信から早や 2 か月過ぎました。理由は 4 頁の「3Pal」をご笑読下さい。

① 台風の置手紙^下は、19 号台風を取り上げます。見出しの「弱は彊より生ず」は、中国・春秋時代(前 770～前 403 年)の古典「孫子」の「乱は治より生じ、怯は勇より生じ、弱は彊より生ず」による。軍はよく治まっている時、わずかな油断から乱れが生ずる。勇を誇っていると、卑怯な者が現れる。軍が強いと安心している時に弱さが出る。孫子は兵法書として知られるが、最近の政府や大企業などの失態にも通じる。

② 図A「ハギビスの旅」は 19 号台風の別称。日本では被害台風を上陸地で示して来たが、戦後はアメリカが決めた女性名に移り、2000 年から北西太平洋・南支那海で発生する台風は沿岸 14 か国の台風委員会が事前登録した 140 の名称を順次使用するようになった。19 号は 52 番目のフィリピン登録のハギビス(素早い)。台風を擬人化した私の計算では、発生から伊豆半島上陸まで直線距離で≒2920km。実際の旅の距離は≒3835km になる。

③ 図Bは、千曲川の決壊で水没した長野・北陸新幹線の車両。10 編成廃棄で 31 億円の損失。千曲川流域には水害痕跡標が 11 か所もある。なぜ水没地に基地が…?

④ 図Cは千曲川決壊の歴史を示す長野市赤沼の善光寺平洪水 水位標。同市津野の曹洞宗妙笑寺の歴代住職が、277 年前の 1742(寛保 2)年「戊の満水」から寺の柱に刻印した記録を基にしている。次ページへ



図C 善光寺平洪水 水位標

いぬのまんすい
1742年 戊の満水
7/27～8/2 日にかけて大坂周辺に上陸した台風の影
響による豪雨

1896年
7/20・21 日各地で
氾濫

1847年 善光寺地震

1911年

1910年

注: 上記青文字は理科年表・島田さんの論文より

出典: 2003 年 信州大学社会開発工学専攻の島田ゆりさんの修士学位論文「氾濫解析による千曲川流域における 1742 年洪水の再現に関する研究」より

今回水害は「戌の満水」に及ばない

⑤ 図Dは、国土交通省北陸地方整備局が10/13日6時45分に発表した長野市穂保(図①)での千曲川堤防の決壊情報である。本文は「5時30分現在決壊した模様」だ。この時点で計12か所で千曲川の濁流が堤防を越える「越水」をしていた。

⑥ 図Eは、穂保での決壊後に浸水した地域である。国土地理院が撮影していた空中写真に標高データで水深を彩色し公表した。この水深推定段彩図に北陸地方整備局発表の決壊データ・図Cの写真と論文や地図を基に見やすくするため①などを加筆し作成した。

諏訪湖の水を超える!?

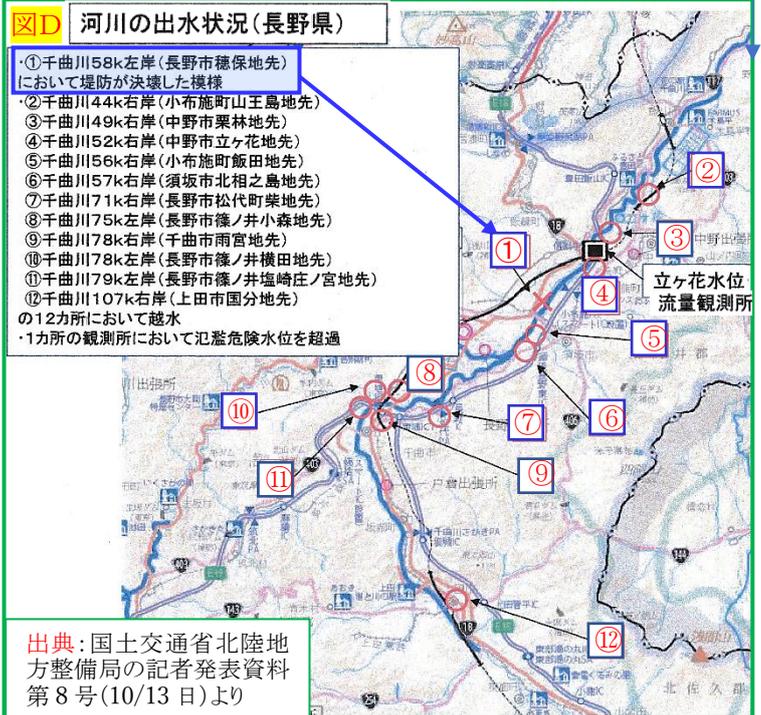
⑦ 堤防決壊は延長約70m。直ちに協定業者が杭打ちを開始し、仮堤防の完成は

17日後の10/30日9時。この間、図Eの浸水地域は最大≧9.5km²に及んだ。11月末に北陸地方整備局に電話すると「氾濫水量や水位を把握していない」。長野市は「床上浸水地域が15.23km²」と回答。御神渡りで知られる長野県の諏訪湖の面積12.81km²(国土地理院調査)を超える。諏訪湖の最も深い深度は7.6mと浅く、諏訪湖の水を一度に被ったような災害とも言えよう。長野市の避難所閉鎖は12/20日であった。

1130年前の大地震+大水害

⑧ 温暖化による「想定外」の言葉が浮かぶ。だが887(仁和3)年7月30日、五畿七道に及ぶ大地震が発生した。「海潮陸に漲り(大洋波)溺死者勝て計るべからず...」。理科年表は推定M8~8.5の南海トラフ沿いの巨大地震と記す。現在、最も再来が警戒されている巨大地震だ。余震は8月まで続き、光孝天皇は同26日、第7皇子(宇多天皇)を皇太子に立て同夜、崩御。ここで「三代実録」は終わる。

- ▼翌888(仁和4)年3/1日、日食。
- ▼5/6日=讃岐国で干ばつ。国守菅原道真が城山神社に雨を祈り大雨降る。
- ▼5/8日=信濃国洪水。山頰れ、河溢れ、唐突として六郡の城廬、地を払いて流漂し、戸口波に随って没溺す。
- ▼5/15日=水害地の租税を免除し、所在の倉



庫を開き賑給す。(888年は新国史大年表より)。河溢れは、千曲川のように思われる。国守は直ちに人民救済を行ったようだ。東日本大震災で注目を浴びた869(貞観11)年5月の貞観地震(推定M8.3)では、時の清寧天皇は陸奥国の多賀城(宮城県多賀城市)の死者多数の惨事に蝦夷との戦いの前線指令部に特使を派遣した。次ページへ

宍道湖や浜名湖の貯水量が降った戌の満水

前頁より) 京都-東京-仙台は JR 在来線で 864km の距離。「民夷(民や蝦夷)を問わず犠牲者を埋葬し、助かった者には賑恤(金品の援助)を行い、被害の大きい者の収税をするな。また鰥寡孤独(妻や夫を失った男女・孤児と独身者)にも賑恤を尽くせと命じた。古来、為政者は鰥寡孤独を援助することが政治の基本であった。一方東京・台東区では避難所に訪れたホームレスの男性 3 人を追い返した話が伝わった。差別助長と分断社会。税金による首相主催の「桜を見る会」に選挙民を大量に招く倫理・道徳観念のなさ、歴史を教えない・学ばない戦後教育の結果と考える。首相在任期間の記録は、そうした戦後教育の負の遺産が一挙に噴き出した感がある。

「戌の満水」へ話を戻そう

⑨ 1頁の図Cを見直して欲しい。女性の身長を仮に 160cm として、戌の満水の水位は約 5m になる。2頁の図Eの北しなの鉄道の豊能駅の近くの沿線に善光寺平洪水の水位標があるそうだ(注位置の地番がつかめなかった)。ここは水深 5m ほどの青色だが、元は今回の堤防決壊近くにある妙笑寺の住職が柱に刻した水位を基にしている。妙笑寺に電話取材を試みたが避難していたらしい。長野市広報担当者は「被害を受けたようだが個人情報には話せない」。河川課は「水が押し寄せたが戌の満水ほどでない」と。

劣化する日本の姿を見る

図F 廃墟になった石巻市民病院



2011/6/28 日撮影

⑩ 新聞TVで報道された図Bの新幹線水没の写真を、今回のテーマを「劣化する日本」とし、千曲川の氾濫史を洗い上記の記事とした。新幹線の技術は世界に誇ってよいだろう。だが、車両基地の選定の際、JR 幹部や技術者は水害を考えただろうか。上の F・G の写真 2 点は、筆者が東日本大震災後に石巻市で撮影したものだ。図Fは津波の直撃を受け水没した市民病院。患者や医師など 450 人が 3 日

⑪ 歴史年表を見ると、1742 年は大災害の年であつたらしい。7 月:京畿洪水、死者多数。8 月:江戸及び関東地方大水害。松城・小諸・忍(埼玉県行田市)・川越・古賀・関宿の諸城大破し、江戸では新大橋が壊れる。幕府は関東地方大水害で物価を抑制する。10 月:堤防復旧は幕府費用のほか大名にも助成させる。11 月:産銅減少のため、中国船の来航数を 10 隻に限定し、銅輸出額を 150 万斤に限定する。12 月:水害地の大名・旗本に救済金を貸与。この年は信濃地方だけの災害でなかったようだ。

⑫ 図Cの島田さんの論文を紹介しよう。序論に「洪水は度々起こるが、河川の流量は観測され始めてから 50 年程しか経過していない。千曲川流域では大規模な歴史洪水の記録が残されている。そこで妙笑寺と松代城の 2 地点の痕跡水位を基に洪水の数量解析を行いたい…」。A4 で 50 枚に及ぶ論文は、他の研究を参照しながら松代藩が戌の満水後、10 年かけて千曲川の流路を変えたと指摘。その影響を数式で説明する。私にはチンプンカンプン。そこで結論だけを紹介しよう。戌の満水の最大氾濫水量は 3 億 18 万 m³。千曲川河川事務所の推定値 3 億 1060 万 m³に近い数字になったという。試しに他の湖沼の貯水量と比べると、島根県の宍道湖の貯水量 3 億 4000 万 m³、静岡県浜名湖の 3 億 5000 万 m³の水が空から降ったような洪水とも言えよう。

図G 石巻日赤病院



2m 盛土された地盤。普段は駐車場だが、緊急時はヘリポートになる。

も孤立し、患者 160 人をドクターヘリや自衛隊ヘリで救出したが 5 人が死亡した。図Gは内陸部の日赤病院。旧日赤は、市民病院の対岸山側(標高1m)にあった。2006 年に北上川から 700m 離れた内陸部に移転。建設した日建設計は、北上川の氾濫史を調べ 2m の嵩上げを提案した。周囲は津波で水没したが、孤島のように浮かび、患者をヘリで次々運び病院機能を発揮した。日赤は高速道の側という利便性を優先したが、日建設計のリスク対策に従った。JR は、社内や関係企業が面従腹背なら恐ろしい。

3Pal とのエンジョイライフ 2

51号では3Pal(3友人)に簡単に触れた。①左眼緑内障、②3年前からの腰部脊柱管狭窄症、③今回新たに1型糖尿病がメンバーに加わった。

まさか1型とは?と考えたが、近所にも、あの人、この人がいる事が判った。高齢化社会では当たり前のようなPalと判り仲良くEnjoy Lifeを始めている。

①目覚めは午前4時から5時。穴倉(書齋)の机の引き出しから①の目薬を出し、両眼に1滴ずつ。医師は「正常な右眼も守ってくれるはず」というので実行している。

②次いで③の血糖値測定。測定器の針を指に差す。出てきた血を測定器のセンサーに当てると5-4-3-2-1という数字に続いて血糖値が表示される。80mg/dl~180mg/dlが正常範囲。79mg/dl以下は低血糖で「医師の指示に従って下さい」という警告が出る。自宅管理なので用意してある3g(12kcal)のブドウ糖を口に放り込む。30分後、再度測定する。4回低血糖を体験したが2回目測定は100mg/dlを越えた。雨降り以外は毎日、雑司が谷霊園を約30分散歩する。車の騒音が無く、墓碑の享年を見ると明治・大正・戦前は短命で、戦後の昭和は6~70歳台、平成では80歳~100歳が主力となり高齢化の傾向を感じる。

③散歩を終え、7:30分ごろから朝食。パン食でメニューは食パン1枚(60g)、牛乳200cc、コーヒ2杯(ゼロカロリー)、温野菜100g、薄ハム1枚15g、ソーセージ1本20g、チーズ1枚15g、ビフィズス菌ヨーグルト60g、リンゴ or ミカン60~100g、自作いも羊羹 or 人参羊羹と多い。赤字は必須。青字はチョイスし赤青計7~9品がのどを通過する。朝食で400~500カロリー。炭水化物6カーボ(120g)を摂取している。

④青字を分散することで体の負担を減らし元気を出す狙いがある。1型は膵臓から出るインスリンが不足し炭水化物の炎を消せない病気と理解している。インスリン放出は膵臓から出る1系統だけで代替ホルモンが無い。福島第1原発の外部電源が1系統し

がなく停電になり爆発したのと同じと考えている。私の場合、膵臓からのインスリン放出の限界値を割り、チョコチョコ出ているのをインスリンで補強している状況です。そのためインスリンも最も軽い持続型(1回注射すると3日持続)を毎日1回、夕食前の17時ころ4単位注射している。そのため、炭水化物の大きいごはん(米)、パン・パスタ(小麦)、蕎麦系統は食べる量を100g程度に減らす。これは医師からの忠告です。

しかしお腹が減り、リンゴ1個、柿1個を食べると血糖値が上がる。そこで炭水化物の数値が中間以下の果物や少ないハム・ソーセージ類を分散して接種することで負担を緩和できると考えたのです。実際、自己流発想で血糖値の数値が安定してきたように感じています。

(次号へ続く)